

融資に関する検査・監督実務についての研究会

平成30年10月2日

みずほ銀行

説明資料



1. はじめに	P3
2. 現行の償却・引当に関して工夫している点	P4
3. 今後工夫が必要になると考えられる点	P5
4. 今後の検討にあたっての意見・要望	P6
(参考資料①)	P7
(参考資料②)	P8

<金融機関が果たすべき役割>

お客さまに対して、一層の創意工夫、質の高い金融商品・サービスの提供を通じて、積極的な金融仲介機能を発揮することは金融機関の本来的な業務であり、社会的な責務でもある。

<金融仲介機能を発揮するために必要なこと>

積極的な金融仲介機能を発揮するためには、金融機関の健全性確保と金融機関の目利き力向上が必要不可欠。過去実績だけに基づかない、企業の成長性や将来の環境変化もとらえたリスク分析能力の向上、その結果としての「適切な」償却・引当の反映が金融仲介機能を更に発揮することに繋がる。

<現行の償却・引当実務>

各金融機関は、金融検査マニュアルを参照して、自らの方針や内部規程を作成の上、決算日現在の財務状態および経営成績を正確に算定することを目的として、資産の自己査定結果等に基づき、償却・引当作業を行ってきた。

2. 現行の償却・引当に関して工夫している点

Strictly Confidential

金融検査マニュアルに基づく償却・引当実務に関して工夫している点は以下の通り。

- 算定期間数の拡大
 - ・リーマンショック期(2008年頃)の高い倒産確率を含めて予想損失率を算定
- DCF法適用先の拡大
 - ・要管理先、破綻懸念先に限らず、その他要注意先の大口先においても適用
- 1算定期間の長期化
 - ・要管理先、破綻懸念先に限らず、その他要注意先においても3年間の見積りを実施
- 直近調整の枠組み
 - ・倒産確率が急激に上昇した場合には、算定期間数を短縮し、予想損失率を算定
- 特定ポートフォリオへの予防的引当
 - ・既存の信用リスク管理の枠組みを活用した機動的な引当計上を研究

<(ご参考)リスク管理高度化への取組>

弊行は、クレジットサイクルの転換やグローバルな環境変化に対応すべく、各種与信集中リスク管理の枠組みに加え、リスク懸念事象に応じた各種調査・ストレステストなども活用し、経営宛に報告及び議論対応方針検討を行い、機動的なポートフォリオ管理を実践している。(不動産与信管理に関する取組事例を参考資料①②に記載)

3. 今後工夫が必要になると考えられる点

Strictly Confidential

金融検査マニュアルを廃止して、各金融機関の創意工夫を促す上で、考慮すべき点は以下の通り。

➤ 信用リスク管理(内部格付制度)との整合性

- ・内部格付に将来予測情報が一定程度反映されている場合において、更に引当算出時に将来予測情報を加味してしまうと、二重計上になり過度な引当となってしまうことに注意を要する。

➤ 監査可能性

- ・見積り手法の合理性を監査人等に説明する必要があるが、手法に先進性があればあるほど、その妥当性を評価することが困難になると予想される。

➤ ガバナンス・内部統制

- ・各金融機関における創意工夫は、金融機関側の裁量を大きくするため、客観性や合理性を確保することを目的として、社内体制や文書化等、一定の枠組み整備が必要。

➤ 開示拡充に伴う二次的な影響

- ・特定地域・特定業種へ予防的引当を計上した事実を開示する場合には、その事実が過剰な信用不安を煽ることがないかどうか等、事業者や同業界へ配慮する必要があるだろうか。

<(ご参考)国際的な会計基準への取組>

弊行は、海外現地法人の現地決算やNY上場対応として、すでに国際的な会計基準への対応に取り組んでいる。

- ・一部の海外現地法人において、2018年度よりIFRS9ベースの決算を開始。(債権単位のステージ判定)
- ・NY上場対応として、2020年度よりCECLモデルによる決算対応を予定。(当初実行時から貸出期間相応の引当)

4. 今後の検討にあたっての意見・要望

Strictly Confidential

前頁を踏まえて、以下の意見・要望を提案する。

- 金融仲介機能を十分に発揮していく観点から、償却・引当手法について、現行の枠組みを含め、各金融機関の独自性を認めてほしい。
- ただし、比較可能性を確保する観点から、償却・引当手法について、金融庁や日本公認会計士協会による何らかのガイダンスやQ&A等が公表されることが望ましい。
- 監査人等との議論を踏まえた各金融機関の創意工夫が活かされるよう、検査・監督は最低限の水準確保を目的とすることが望ましい。
- 現在ASBJ(企業会計基準委員会)が取り組んでいる「金融商品に関する会計基準の開発プロジェクト」と平仄を揃えて検討を進めてほしい。